

大地震想定での避難訓練及び園児引き渡し訓練



10月21日（金）に、南海トラフ型の大地震を想定した避難訓練及び引き渡し訓練を行いました。非常ベルが鳴った後、「大きな地震が発生しました。先生の話をよく聞いて落ち着いて安全な場所に避難しましょう。」という放送をしっかりと聞き、一斉に椅子の下やロッカーの中などに隠れて身を守ることができました。その後、担任教師の指示に従って速やかに園庭に避難をしました。園庭では、園長先生や担当教師からのお話があり、東日本大震災のことや「お・は・し・も」のお約束を確認しました。また、グラウンドへ二次避難を行ったり、園庭に戻ってテントの中で非常食のわかめおにぎりを食べました。実際に地震が起きたら、非常食しか食べられないかもしれないということを伝えると、とても味わって食べる姿がありました。



頭をしっかりと守って避難することができました！



智泉幼児保育専門学校の学生さんが
お手伝いしてくれたので、スムーズに
訓練を行うことができました！



～非常食のわかめご飯～
アルファ化米に水を入れて
1時間で戻し、ラップに
包んで握りました。



今年も一斉メールを配信し、保護者への引き渡し訓練も行いました。カードを受付で配り、確認が取れた方から順に子どもを引き渡しました。今回、訓練を行うことの大切さを感じ、日頃から地震や災害への対策をしっかりと行っていくという意識を改めて持つことができました。今後も地震や災害をしっかりと意識し訓練に取り組んでいきたいと思ひます。

